

(別紙)

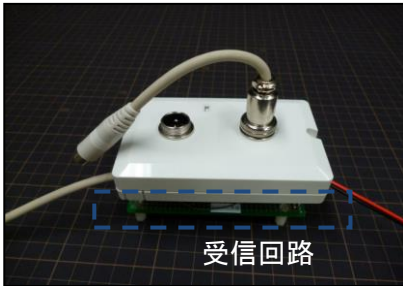
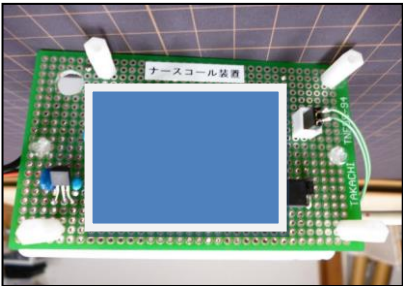

平成25年 9月26日

試用評価の依頼書

1. 依頼者の概要

事業者名	東リ株式会社		
担当者名	商品企画部 新分野推進G 船山 徹		
担当者連絡先	住所	兵庫県伊丹市東有岡5-125	
	電話	06-6494-1792	
	電子メールアドレス	toru_funayama@toli.co.jp	
主たる業務	インテリア商材の製造・販売		
主要な製品	ビニル床タイル、クッションフロア、ビニル床シート等、塩ビ製品の製造・販売 カーペット、カーテン等の繊維製品の製造・販売		
希望する施設等の種類、職種	ナースコール装置のある老健施設もしくは病院		
希望する評価地域	関西地区が希望（特に大阪府、兵庫県内）		
その他			

2. 試作機の概要

機器の名称（仮称）	（仮称）発電無線マット離床センサー イーテリアマット 及び、ナースコール連結受信装置（既製の分配器利用）	
機器の写真	  <p>ナースコール分配器（既製品） + 無線受信モジュール（評価対象）</p> <p>無線</p>  <p>発電無線マット離床センサー イーテリアマット（評価対象）</p>	

<p>機器の目的及び特徴</p>	<p><目的></p> <p>超高齢社会による徘徊患者の増加に伴い、現在、介護施設での離床センサ導入が増加している。導入理由は、患者の身の安全を守るためのスタッフの見回りが大変なためである（特に深夜の見回り）。</p> <p>そこで、施設向けに「ナースコールでお知らせする3レス（コードレス・ワイヤレス・バッテリーレス）の発電式徘徊感知用マットを提案したい。</p> <p><特徴></p> <p>■発電式徘徊感知用マット：徘徊患者がマットを踏んだ際の振動、及び圧力で発電し、その発電した電気で無線信号を発信する。このマットとナースコールに連動する受信機との組み合わせにより、以下を実現する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安心・安全な3レス：コードレス・ワイヤレス・バッテリーレスの3レスにより、コードによる転倒・断線、停電や電池切れによる送受信ミスを解消。 2. 簡単なシステム導入：専用のナースコール分配器（評価品）を差し込むだけで、既設のナースコールシステムに連動できる。 3. 自由なマットの設置：マットの3レスの特徴により、ベッドの足元だけでなく、トイレの前や出入口等、自由に好きな場所に設置できる。 4. 容易なメンテナンス：病院で実績のある床シートの採用により、水拭きだけで長期間美観を保つ事ができる。 5. 生活空間にマッチするデザイン：グレーやベージュの介護生活を想起させるデザインではなく、生活空間に馴染むデザインを採用する事により、生活者（認知症患者）を精神面でサポートする。
<p>想定する使用者</p>	<p>介護者：施設、病院のスタッフさん 被介護者：認知症患者、介護施設患者</p>
<p>想定する使用方法や使用環境</p>	 <p>発電式徘徊感知用マット ⇒ ナースコール連結受信装置（既製の分配器利用） ⇒ ナースコール子機 ⇒ ナースコール親機 ⇒ 介護スタッフさんに報知</p>

開発に至った背景	<p>弊社保有の床材のノウハウ（機能面）、床材の発電技術、施設への床材導入実績、空間デザイン力を活かし、高齢化が益々進む中、社会的問題となっている認知症患者さんの徘徊感知機器として、被介護者の安全・安心、及び、介護スタッフさんの肉体的精神的負担を軽減できる装置の開発を目指した。</p> <p>※市場規模予測：介護施設患者156万人（2012年）が対象 / 認知症施策推進5か年計画（厚生省）</p>
現在の開発状況	<p><発電無線マット離床センサー イーテリアマット> 試作段階で機能面、安全面等のチェックを実施中。実証実験2件実施済み</p> <p><ナースコール連結受信装置（既製の分配器利用）> 機能試作段階。現場での実証実験は未実施。</p>
現在の課題	<p>実証実験による検証件数が少なく、現場の声、また、有識者からの意見収集が少ない。本来の基幹事業とは異なり、新分野での開発商品となっている点が大きな理由で、お客様との接点が少なく、困っている。</p>
試用評価にあたって、特に評価してほしい事項	<p>・安全面、倫理面のご評価をお願い致します。</p>
その他	